

## Injury Alert (傷害速報) 類似事例

## ビーズ型芳香消臭剤の誤飲

## (No.74 ビーズ型芳香消臭脱臭剤の誤嚥による気道異物の類似事例 1)

事例	年齢：1歳2か月 性別：男児 体重：9.4 kg 身長：72.5 cm
傷害の種類	誤飲
原因対象物	ビーズ型芳香消臭剤 (部屋用)
臨床診断名	異物誤飲
医療費	197,990 円
発生状況	発生年月・時刻 2019年3月X日(月) 午後5時00分
	発生時の詳しい様子と経緯 <p>芳香消臭剤は1年ほど前に購入し、寝室(和室)の衣装ケース(高さ150cmほど、プラスチック製)の上に置いてあった。衣装ケースの上には、芳香消臭剤の他にかごが置いてあり、かごの中に服やタオルを入れていた。また、それ以外にも衣料品などを置いており、それらに隠れていたため、芳香消臭剤を置いていたことも忘れていた。</p> <p>誤飲当日、午後3時頃、昼寝のため床に敷いた布団で母が児を寝かしつけていた。児は眠ったが、母も一緒に寝てしまった。父は夜勤前で児より先に、児の隣で眠っていた。衣装ケースと布団は50cmほど離れていた。</p> <p>午後5時頃、ガサガサという音で父が目覚め、音のする方向をみると児が床にちらばった芳香消臭剤の粒を手で触っていた。すぐに母を起こし、母が児の口の匂いをかぐと、匂いがしたので誤飲を疑った。発見時、児は機嫌よく粒を触っており、その後も嘔吐等の症状を認めなかった。</p> <p>粒は購入当初より小さくなり、また消臭剤パッケージの蓋の所在は不明であった。衣装ケースの上に置いてあった衣料品などがずれていたこと、衣装ケースの引き出しが少し飛び出ていたことから、児が揺らしたと考えられた(普段から衣装ケースを揺らすことがあった)。</p> <p>児の体にも匂いがついていたため、茶を飲ませた後に、シャワーで体を洗い流した。シャワーの間に母が近所にいる曾祖父母に連絡し、駆けつけた曾祖父が救急車を要請した。</p>
治療経過と予後	午後6時20分に当院へ搬入された。バイタルサインは、心拍数140 bpm、血圧112/66 mmHg、呼吸数32回/分、意識レベルは清明であった。症状は認めなかったが、誤飲した量が不明であり、経過観察目的に入院した。入院後、新たな症状の出現はなく、入院2日目に退院した。

本例は、原因対象物の外観、受傷機転を鑑みて、誤嚥による気道異物の類似事例としています。